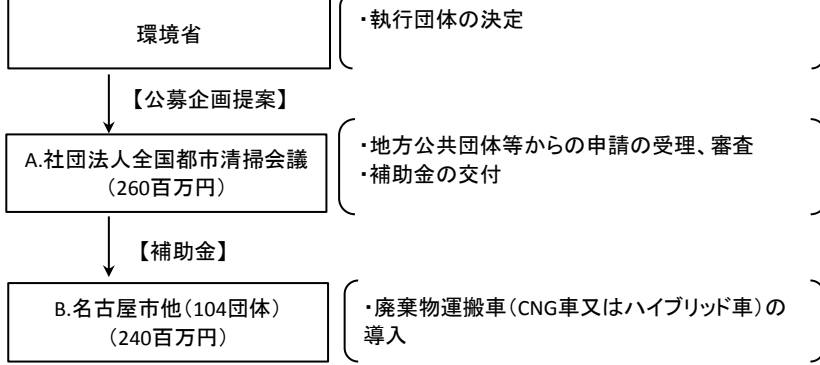


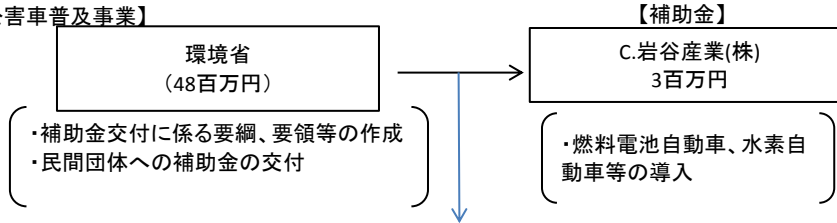
行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	低公害車普及事業及び地方公共団体等の保有する塵芥車、ゴミ運搬車等の低公害化	事業開始年度	低公害車普及事業：平成15年 地方公共団体等の保有する塵芥車、ゴミ運搬車等の低公害化：平成21年第1次補正予算	作成責任者		
担当部局	水・大気環境局	担当課室	自動車環境対策課	自動車環境対策課長 山本 昌宏		
会計区分	エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)	上位政策	地球温暖化対策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計法第85条第3項第1号ハ	関係する計画、通知等	○「低炭素社会づくり行動計画」(平成20年7月、閣議決定) ○「京都議定書目標達成計画」(平成20年3月、閣議決定) ○「低公害車開発普及アクションプラン」(平成13年7月策定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	・低公害化の遅れている地方公共団体の塵芥車、ゴミ運搬車等の低公害化を支援するとともに、先進的な次世代低公害車等の導入を支援することにより、大気汚染の改善と併せて地球温暖化防止を図る。 ・平成21年度補正分については、経済対策も兼ね、生産販売の落ち込みの顕著な重量車メーカーの回復も同時に図りつつ、塵芥車、ゴミ運搬車等の低公害化を促進する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	【低公害車普及事業】 ・地方公共団体等が車両総重量3.5t超の低公害車(塵芥車、ゴミ運搬車等)や、次世代低公害車(燃料電池車、水素自動車等)を導入する際に、導入費用の一部補助を行う。 【地方公共団体等の保有する塵芥車、ゴミ運搬車等の低公害化】(平成21年度補正) ・地方公共団体等の経済的負担の要因によって低公害化が遅れている塵芥車、ゴミ運搬車等を対象に、経済対策も兼ねて重点的にハイブリッド自動車等の導入を支援したものである。					
実施状況	【低公害車普及事業】 平成21年度補助実績(台数)は以下のとおり。 電気自動車:2台 塵芥車、ゴミ運搬車等(ハイブリッド自動車:42台 CNG車:65台) 燃料電池自動車:7台 水素自動車:4台 【地方公共団体等の保有する塵芥車、ゴミ運搬車等の低公害化】(平成21年度補正) 経済対策も兼ねて緊急に実施するものであったため、平成21年8月に公募により執行団体を決定し、業務の執行を開始。架装に数カ月を要するものであるため、申請の内、平成21年度内の補助金交付件数は236件、補助金額は240百万円を執行。残りは平成22年度に繰り越して執行しており、執行率は約95%の見込み。 当初計画では、平成21年8月から順次、補助金申請の提出があり、その後、年度内に塵芥車が導入された自治体及び民間事業者からの実績報告書が提出される予定であったが、重量車製造メーカー及び架装メーカーの納車の遅れの結果、平成22年3月31日までに完了されない自治体ができてきているため、繰越を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	85	117	647	145	357
	執行額	90	73	308		
	執行率	105.9%	62.4%	47.6%		
	総事業費(執行ベース)	180	146	354		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	【低公害車普及事業】 ・補助金交付申請の際に、補助対象車及び通常車両の見積書の提出を求めるとにより、より正確な差額(補助対象経費)の把握に努めている。 ・実績報告書の提出書類として、導入した車両の写真及び車検証等の提出を求めるとにより、補助金が低公害車の導入に適切に活用されていることを確認している。 ・【地方公共団体の保有する自動車の塵芥車、ゴミ運搬車等の低公害化】(平成21年度補正) 本事業は、緊急の対策であり、対象となる団体も多いことから、(社)全国都市清掃会議を通じた補助としているが、(社)全国都市清掃会議より、執行状況についての報告を受け適切な支出を確認している。また、(社)全国都市清掃会議の事務経費についても精査し、効率化を図るなど経費の見直しを行っている。				
	見直しの余地	【低公害車普及事業】 ・予算の効率化を図るため、関係省庁との役割分担も考慮して、平成21年度で電気自動車の補助を終了している。 ・自治体が車両を購入する際には、一般競争入札に付することを原則とすることにより、効率的な予算執行を行ってきており、今後もこれを徹底することにより、更に効率的な予算執行に努める。 ・説明会の開催、ホームページの活用、十分な公募期間の確保等の執行事務の改善により、より効率的な予算の執行に努める。 ・塵芥車、ゴミ運搬車等の取得支援については、電動パッカー車などの大気汚染防止、地球温暖化防止対策に有効な新たな車両が発表されていることも考慮し、廃棄物処理事業全体における温暖化対策の枠組みの中で、対象車両を検討することにより、更に効率的な執行が図られるよう検討する。				
化予 算監 視の 所効 見率	一部改善 (事業内容を見直し効率的な事業実施に努めるべき。)					
補記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額)					
		19年度	20年度	21年度		
		29	0	0		
	平成21年度の執行率が低い理由については、「実施状況」に記載のとおり、補正予算の執行について、対象車両の特殊性から、納品に時間がかかり、一部、平成22年度に繰り越したためであり、その後、全体としては適正に執行している。					

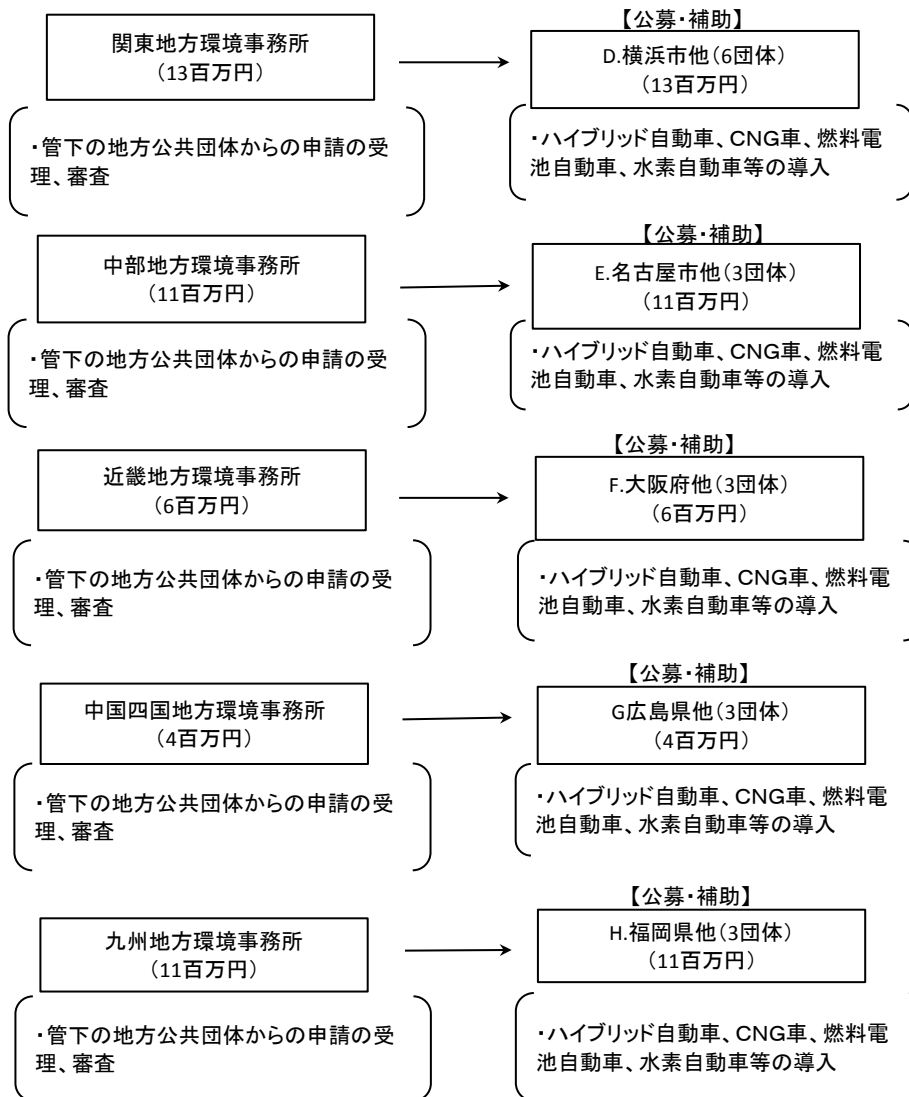
【地方公共団体等の保有する自動車の低公害化】



【低公害車普及事業】



【地方公共団体分執行】



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 社団法人全国都市清掃会議			E.名古屋市		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	自動車低公害化推進事業費	240	補助金	燃料電池自動車の導入	5
業務管理費	労務費	11	補助金	電気自動車の導入	1
	事務所維持費	3			
	システム運営費	2			
	一般管理費	3			
その他	通信費等	1			
計		260	計		6
B.名古屋市			F.大阪府		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	塵芥車の導入	18	補助金	燃料電池自動車の導入	5
計		18	計		5
C.岩谷産業(株)			G.広島県		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	水素自動車の導入	3	補助金	水素自動車の導入	2
計		3	計		2
D.横浜市			H.福岡県		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	ハイブリッド塵芥車の導入	4	補助金	燃料電池自動車の導入	5
補助金	燃料電池自動車の導入	3			
補助金	CNG塵芥車の導入	2			
計		9	計		5